

# 吹田西ロータリークラブ ウィークリー



Weekly NO. 1375  
平成 22年 6月 7日

ロータリーの未来は  
あなたの手に | THE FUTURE OF ROTARY  
IS IN YOUR HANDS

## 2009～2010 — 創立30周年 —

■ 創立 1980.6.12  
 事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F  
 ☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020  
 URL http://www.suita-west-rc.com  
 例会場 江坂東急イン  
 ☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109  
 例会日 毎月曜日 18:00～19:00  
 役員 会長：仲辻 章 幹事：清水大吾 会報委員長：岡 信行

### 4つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～  
“たしかなこと”

### 第1375回 例会 平成22年 6月 7日

卓話「30周年記念式典 於 東急イン」

今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

### 先週内容

#### 会長挨拶

仲辻会長



本日は、30周年記念式典を来週にひかえ、最後の打ち合わせとなります。

式典当日は勿論、その前後にも何かと会員の皆様の御協力をお願いすることと存じます。何とぞ、御協力のほどお願いします。

### 次週 第1376回例会予告 平成22年6月14日

卓話「一年間の総括」

クラブ奉仕	由上理事
職業奉仕	坂口理事
社会奉仕	青木理事
国際奉仕	田中(慶)理事

Weekly No. 1375は岡委員長が担当しました。  
 Weekly No. 1376は岡委員長が担当の予定です。  
 (本日の原稿をお渡し下さい)

### 幹事報告

清水幹事

- ・高槻東ロータリークラブより、IMの報告書が届きましたので、お配り致しました。
- ・ロータリーの友6月号をお配り致しました。
- ・「すいた環境教育フェア2010」協賛のお礼とポスターが届いております。  
 日時：平成22年6月19日(水)10時～16時  
 メイシアター
- ・本日例会終了後、新旧理事会を開催致します。

### 出席報告

伊藤委員長

- 会員数 49名 ● 来客 0名
- 出席会員数 42名 ● 本日の出席率 91.30%
- 5月10日の出席率(メーキャップを含む)100%

### 誕生御祝 - 6月

- \*\*\* 会員 \*\*\*
- 昭和38年 6月 1日 阿部会員
  - 昭和26年 6月15日 渋谷会員
  - 昭和15年 6月28日 郷上会員
  - 昭和22年 6月28日 佐藤会員
  - 昭和 2年 6月30日 中堀会員
- 以上5名

- \*\*\* 会員夫人 \*\*\*
- 6月12日 家村会員夫人
  - 6月14日 郷上会員夫人
  - 6月20日 大藤会員夫人
- 以上3名

## 社会奉仕委員会

青木委員長



- ・明日6月1日(火)は当クラブ主催のクリーン・デーです。午前7時30分より、江坂駅周辺の清掃を行います。東急イン前にお集まり下さい。多数のロータリアンの出席をよろしくお願い致します。
- ・17日(木)は、ピケンテクノ様にて、献血があります。先週もご案内致しましたように多数のロータリアンのご協力よろしくお願い致します。

## 記録委員会

伊藤副委員長

平成22年6月1日より、当クラブのホームページの運用を開始します。

HPアドレス : [www.suita-west-rc.org](http://www.suita-west-rc.org)

## 30周年実行委員会 国際部門 田中(慶)部長

国際奉仕の関連(ロータリー財団、米山記念奨学会、世界社会奉仕、青少年交換)の方々には全面協力をお願いします。

前回ナコンパノムに行かれた方々も御協力のほどお願いいたします。

### ゴルフ同好会

新井会員

#### 第9回 クラブ対抗ゴルフコンペ 成績

日 時 平成22年5月26日(水)  
場 所 関西カントリークラブ  
参加人数 32名(吹田西RC14名)

#### 1. 個人の部

優勝 右松 強  
準優勝 山崎 睦治  
3位 金場 隆二  
4位 新井 清  
5位 田中 慶一  
6位 西本 健二  
7位 鈴木 基弘  
8位 村井 正雄  
9位 寺井 正昭  
10位 堀田 稔

#### 2. クラブ対抗の部

優勝 吹田江坂ロータリークラブ  
37ストローク差

ナコンパノムへの義援金 28,000円

## 退会のご挨拶

蔵田会員



社命により、東京、新宿駅西口支店へ転勤となり、本日をもって退会となりました。

30周年直前の大変忙しい中、敵前逃亡するようで申し訳ございません。

皆様のご健康と吹田西RCの益々のご発展を東京より祈念しております。



## ニコニコ箱

勝副SAA

### ◆右松会員

江坂ロータリーとのゴルフ対抗戦で、ハンディキャップにめぐまれ個人の部優勝いたしました。

### ◆荻田会員

3月決算、5月申告の会社の決算、申告を無事期限内に済ませることができました。しんどかったなあ。

### ◆蔵田会員

本日が最後の例会となりました。皆様、本当にありがとうございました。

本日のニコニコ箱 9,000円

累計のニコニコ箱 1,070,000円

## 卓話

### 「30周年記念式典について」



2010年度  
ロータリー青少年指導者養成プログラム  
「春のライラ」報告書



日 時 2010年5月2日(日)～4日(火・祝)  
場 所 大阪府立青少年海洋センター  
テーマ 『エコ社会を君たちの手から  
(若者が考える地球環境)』  
主 催 国際ロータリー 第2660地区  
ホスト 大阪城北ロータリークラブ



株式会社ビケンテクノ  
藪内 佳人 様

この度、5月2日(土)から5月4日(水)に開催された春のライラ研修に参加させて頂きました。場所は大阪の岬町にある大阪府立青少年海洋センターで、「エコ社会を君たちの手から(若者が考える地球環境)」というテーマの下行われました。

エコ社会を考えるというテーマに沿い、岬町の海岸線の清掃やグループディスカッションを行い地球環境について学ぶというものでした。

1班に10人前後のグループを作り1班から11班に分かれ、3日間のプログラムを実施しました。

ライラ研修の大きな特徴は外国人の方々が多く参加されているところです。私の班にも3名の外国の方がいらっしゃいました。私は今までこのように外国の方々と交流する機会がありませんでしたので、今回の研修は貴重な経験となりました。

この研修を通じて様々な環境問題に触れ、知らなかったことも多く、新たな発見がたくさんありました。また、様々なプログラムを外国の方を含めたグループで一緒に体験し、それに基づく成果発表を皆で考え実施していくことが何より良い経験になったと感じています。

外国人の中には日本語が堪能な方もいれば、話せない方もいらっしゃいましたので、会話するときは日本語だけでなく、簡単な英語やそれぞれの母国語を交えながら会話する等の工夫を行いました。



今回の研修全体を通して、グループで成果発表の内容を決めるディスカッションを行いました。初めは日本語のわからない外国の方が全く発言できない等、まとまらないところがありました。しかし、お互いに協力し、気遣うことで成果発表を完成させる事ができました。

最後の発表の際に日本語のわからない外国の方が、覚えてたの日本語で「この班で本当に良かった。ありがとう」と発表したことが非常に印象に残っています。お互いへの気遣いが人と関わる中で重要な要素であることを学びました。

今後、仕事や生活していくうえで様々な人と関わりを持つと思います。今回のように外国の方と接する機会もあるかもしれません。その時にはこの研修で学んだことが活かされると感じています。

今回、春のライラ研修に参加させて頂き、このような貴重な経験をさせて頂いたことに感謝しています。ありがとうございました。



株式会社ビケンテクノ  
葭岡 俊光 様

5月2日から3日間、ロータリークラブ主催のライラ研修に参加させて頂きました。研修には多数の留学生が参加しており、様々な国の方との交流は、大変貴重な経験となりました。

研修は、泉南郡岬町で開催され、「エコ社会を君たちの手から（若者が考える地球環境）」というテーマの下、大阪工業大学 石川教授の基調講演から始まりました。講演後は10名程の班に分かれて自己紹介ゲーム等で打ち解けました。

その後、カッターボートに乗ってオールを漕いだり、ロープワークを学ばせて頂き、夕食は班でカレーを自炊して食べ、1日目終了しました。

2日目は海岸清掃から始まり、フィールドワークという事で岬町の飯盛山へ登山に行きました。海岸清掃・登山を経験し、地球環境の現状を感じることが出来ました。海岸にはタバコやペットボトル等のゴミ、山では登山道にゴミが落ちていたり、手入れの行き届いていない雑木林が目立ちました。海岸のゴミは直接捨てられた物の他、沖合いから流れ着いた物も多数を占めている事が判明しました。海岸のゴミ、漂流物は我々だけでなく、世界中の人々が問題意識を持ち一丸となって取り組まなければ解決しない問題でもあります。

3日目は、各班で岬町が募集している『ゆめ・みらいサポート事業』の提案書作成及び3日間の研修について発表するという内容でした。私達の班は、今回の研修テーマを基に飯盛山を含む登山道の整備事業を提案しました。プロジェクト名は、大阪府でも取り組まれているアドプトロード・リバープロジェクトからヒントを得て、アドプトウッドプロジェクトとしました。登山道の一部に木材を使用して階段を作っているところがありましたが、腐食が進んでいる状態でした。それをスポンサーを募り新しい階段を作成するという内容です。木材にスポンサー名を入れることで宣伝にもなりますし、木材を現地調達することで雑木林の手入れ、美観の向上へも繋がります。実現するには問題が山積していると思いますが、最後の発表の場で私達の班は提案書の内容を中心として発表させて頂きました。

今回の研修を通じ、これまであまり深く考えることのなかったエコ社会について学ぶことが出来ましたし、地球環境という大きなテーマではありますが、少しずつ出来ることから改善していかなければならないと思いました。

また、集団生活やフィールドワーク、ディスカッションを通じて与えられた課題に対してグループが全員で考え、意見を出し合い、考えをまとめる重要さを学び、自分の意見をしっかり持たなければならぬと改めて感じました。

最後になりましたが、このような研修の場に参加させて頂き、本当にありがとうございました。